夕刊
磐城新聞
一月十六日發行
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八、五六五番

石城の年中行事

―正月の巻―

磐女郷土研究部調査

五

またあかぎりうりもこの日にある

○十五日　正月送り

七五三繩其他正月の飾物一切をまとめてその年の明の方に納める日で、氏神様に納める家もある。おふさくる時は分家の者が本家には一部分を殘して置いて田植の際苗をしばるのに用ひる。七五三繩は大抵木にしばりつける様であるが、門松などは鳥小屋で燒く。飾物をさげる時は多く、お籠様から始めホー〳〵〳〵と三聲呼ぶ。又は小屋に持つてゆく時に、又は小屋を燒くときに斯う呼ぶなどまちまちである

小豆粥をつくるのはどこも同じと思はれる

里歸り

嫁が里に歸る日

鍬入り　佛事始め

けふ始めて佛事のことをとり行ふ。正月十五日中に起つた不幸はけふ始めてその始末が行はれ、又惡い日としてあまり出歩かない

○十八日　十八粥

この日粥をつくる。十四日の餅、十五日に供へた御飯等を用ひるのが多い様である

○二十日　惠比須講

多く商家で行はれる。生きた鮒をはじめ算盤、財布を桝に入れたりして供へる

供へる御飯は殊更澤山に盛るのが例である

この日、農家では一年中の農具の修繕を大抵午前中にやつてしまふ。はよそつくる時は分家の者が本家に集まつて手傳ふ

此の日始めて灸をすゑるが二十日灸と稱してゐる

○二十三日　二十三夜待

農家の初寄合は大抵この日である

○二十五日　大歳若

二十日、二十四日その他いろ〳〵である

○三十日　晦日正月

神棚に松、榊等をかざり赤飯等をつくつて仕事を休む。送り正月ともいふ

日ナタ

須田いはほ

コ、ニハ　ヨイ日ガ　アタツテル
カゼモ　光ニ　ヌレテクル
チャボモ　ヨイ日ニ　アタツテル
アビテル　砂ハ　ホヤリトスクイ
子供モ　光ニ　マロンデテ
ヨイ日ニ　オ手々　アツタメル
光ニ　スクイ　地面ニハ
カハイ　芽ノデタ　タネモアル
ココニハ　ヨイ日ガ　アタツテル
笑ヒタヒヨナ　カゼモフク

詣成田山

珠翁　小野務本

不動明王靈且融
三元來拜曉霧中
參人十里紛如織
法悅無窮今古同

今日の訓へ

晉名　山人

一日一仁をなせ、積りて三百六十五仁となる、この原動力あれば汝の躍進は富士山の頂上にあり、期せよ諸君！子の曰く、君子仁を去つて惡んか名を成さん、君子は食を終ふるの間も仁に違ふことなく、造次にも必ず是に於いてし、顛沛にも必ず是に於いてす、と

或る日の囚徒と題す

母岡　鈴木欣々子

囚徒らは北風鳴る朝の麥ふめり
囚徒らのおもひは哀し麥ふめる
麥を踏み囚徒らは野に恥らへり
麥を踏む囚徒をぬらす時雨來ぬ
囚徒らがしぐれに憩ふ軒かしぬ

1月17日　△新暦を作る（天安元）△比律賓聯邦自治制案米上院で可決す（昭和八）△ザール獨乙復歸正式決定△石川千代松歿去（同一〇）

1月18日　△元の使者來る（文永五）△江戸振袖火事（明暦三）△三宅やす子逝く（昭和九）△全國に寒波襲來（同一一）

特異性ある精神文化の開發へ

上

小山健三

農村問題が常に社會對策の一題目として扱はれてゐ乍ら、それが今日明日に迫つた切實な問題でなく、且卽効的な結果が見られない爲等閑視され勝なのは遺憾である、それも部分的には米穀對策、產組助成、小作問題等實行され考究されてはゐるが、それ等は末葉の問題であつて、『農村を如何にして救ふか』の根本觀念には極めて遠いのである

茲に採り上げられた農村文化の問題は所謂農村更生の一要素として決して等閑視してはならない問題であつて、その物質的方面に就いては近代文化の浸潤に依り且又交通機關の整備等に依つて殆ど都會と變らぬ惠澤を受けてゐるが、精神的方面を見れば貧に赤し、敗が深いのである。その內最も近代人と密接なる關係ある藝術方面に就て見るも、文學に於てはその殆どが都會中心のそれであり、偶々之を農村に取材するもホンのロケーシヨン的取扱に過ぎず、音樂然り、繪畫然り皆異の農村を描き、農民の惱みを描寫せるものを望むことは困難である。最淺も潤澤あるラヂオですら都會本位のプロ編成であり、偶々農村方面の取材といへで堅苦しい農民講座か農村青年へのお說教。乃至は地方、民謡銘打つた怪しい方言位の程度で、今の農村を題材とせる親しみある農民劇術に接することはむつかしい。そして、こうした農村生活に卽した精神的文化は都會人に依つてのみ作らるるものでなく、眞に農民の衷から生れ、農民の切實な表現でなければならぬ。との偏狹な理論は暫く措き我々の理解者なれば、それが都會人たると農村人なるを問はず、進んで之を享けるだけの用意と度量が必要である。

小說　高橋是淸

(213)

佐藤泉三郎作　佐々木今朝晉畫

總理擧前後（二）

政府主催の日比谷公會堂に於ける演說會は廣田首相の他に國民敬の標的となつてゐる、藏相高橋是淸を一枚加へた事に依つて總選擧を前にしての好個の話題となり、素晴らしい人氣を呼んだ

開會は十七日午後三時。一時開場の豫定であつたが、當日になつてみると熱心な聽衆の群は早くも夜明けを待つて午前六時前後から夜來の霜を踏んで續々會場附近に詰めかけて係員を驚かせた

そして十時前後には無數の聽衆が公會堂から音樂堂へかけて長蛇の列をつくり新　社の寫眞班がその間を縫つて急がしくそれをカメラに納めて廻る程の盛況だつた

そのため最初の開城時間は豫定より二時間も繰上げられ午前十一時、早くも開場を餘儀なくされた

扉が開かれるや忽ちなだれをうつて入場した群集の洪水に依つて瞬く間に場内は超滿員の狀を呈し餘儀なく入場を拒絶された群集も去りやらず場外に佇み、尙陸續來集した人々は茫然として遲刻を口惜むばかりと云ふ有様だつた

定刻、先づ待兼ねた聽衆の拍手に迎へられて白根内閣書記官が壇上に現れ、開會の辭を簡潔に述べ再び拍手に送られて降壇した。が拍手は止まなかつた

それは白根書記官長を送ると共に萬人が敬し愛する次ぎの辯士を迎へる熱烈な全聽衆の萬雷の拍手だつた

演壇後方に貼出された墨痕鮮かな短冊型の掲示『財政經濟方策に就いて大藏大臣高橋是淸』

それが次の辯士と、その演題だつたのである

是淸登壇の氣配と共に拍手は更に澎湃たる怒濤を思はせるやうに場内いつぱいに奔騰した

警戒の警官の中にすら拍手を送る者が見られた

やがて靜々是淸は壇上に歩を運んだ。鄭重に一禮して顏を擧げた

それは、談一度政治問題に觸れ經濟問題に及んだ時秋霜烈日的な鋭利さを見せる、この國の老大臣の面影を何處に見出すかと思はせる春風駘蕩的な温顏であり愛すべき好々爺の面貌だつた

聽衆は曾ての徹宵閣議に廿一時間を椅子に坐した儘軍部の要求を無言の裡に涼制し豫算編成を完了して内閣の危機を救つた老藏相の陸軍の豫算復活追及に對して――孤立無援の日本を堂々述べてすでに一角の崩壞を感ぜしめてゐる、財政の生命線を死守した老政客の代りに飄々乎たる我等の高橋さんを招福の達磨さんを眼前に見出したのである

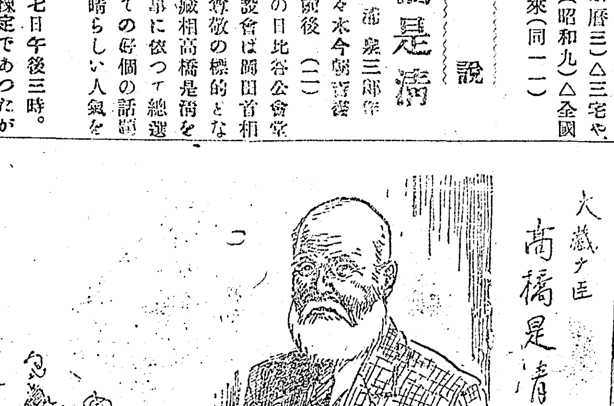
又萬雷の拍手だ

その澎湃たる拍手の波の中から一度是淸の口が開かれるや騒然たる總ての音響は一瞬にして消え失せ世界を異にしたやうな靜息が來てゐた

聽衆の悉くが、その一言一句をも聞きもらす事を惜んで、この沈默の中に視線を壇上の是淸の温顏に注ぎ耳を傾けて聞入つてゐたのである

莊重な中に親しみのある簡潔な中に含蓄のある、平易な言葉で是淸は語つた。そして刻一刻聽衆はその言葉の中に引入れられて場内にはただ是淸の聲だけがあつた

太古の靜寂の中を流れる悠揚たる春の水音――



株ハ一株ヨリ、債券ハ一枚カラ賣買●マス。
▲友部株式店
平町三丁目　電話一七七番

廣告

耳鼻咽喉科
高柳醫院
醫學博士　高柳博明
平驛前（電三三六）
（入院應需　自炊ノ便アリ）

吸入用酸素
度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　體温器　寒暖計
關内藥局　電話四〇番

井坂醫院
産科婦人科
平町田町　電話五五九番

おでん
一平
出前迅速
電話二六三番

國產ニッポン。魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣　平製氷會社　電二二八・三三六番
ヒノマル凍魚
鯛　エビ　白魚　ワカサギ　甘鯛　マナ鰹　帆立貝　ウニ貝燒
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。
卸問屋　平四丁目　ト印魚問屋　電五二八番

外科、內臟外科
エツキス光線科
新設　産婦人科
入院隨意
平町田町
院長　安齋徹
醫學士　黑澤廣
安齋醫院
電話四七五番

鮫川砂利採取及販賣
砂利…川部村沼部
砂…山田村法田
玉石…植田鮫川橋下
砂利採取場

貨物自動車運搬業、有價證券、株式債券賣買及仲介、商品依托販賣、千代田生命、千代田火災保險代理店
常磐線植田町
植田物產株式會社
取締役　山崎登
電話三一番

各種貨物一般及重量機械類運搬取扱
石城郡錦村中田
植田物產錦出張所
電話（植田）一三五番

産科　婦人科　外科　藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　內木宗八
藥劑師　大岩俊雄
入院隨意　病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

ほねつぎ
神經痛ニ　オレンヂ
リウマチスニ　パスタ
桑原柔道整骨院
平町公園下
電話六七四

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
病室完備
上田醫院
（電話一二九）

新築落成
外科（內臟外科及一般外科）
X光線科、花柳病科
內科、小兒科
岩手醫學士　高波勳
院長　前田淸美
（病室完備　自炊ノ便アリ）
前田醫院
植田町本町　電話一二四番

主婦の友・婦人公論・婦人倶樂部・婦女界　推奬
世界に誇る大發明！
S式　高速度編物機
日本大婦人雜誌や專門家が筆と口を揃へて是れこそ理想的編物機と嵐の如き大賞讃
一臺金五圓九十錢也
御買上の方には責任を以つて教授致します
平町田町
ハシモトヤ糸店
電話一四番

夜間診療
胃腸　性病　專門
內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院
（平町南町　電一〇一七番）

しもやけ家傳藥
マデしもやけハ暖カクナラネバ治ラヌモノト諦メテ居ツタノガ一日二三回二三日ノ御使用デ、くずれたしもやけモ忘レタ様ニ完全ニ治リマス。
現今ノ塗藥トハ異リ罨法ニヨリ根本カラ除去スルモノデアリマス。
しもやけハ寒サノ爲ニ皮下毛細血管ガ障害ヲ起ス爲ニナルノデ塗藥等デハ決シテ治ルモノデハアリマセン、又くづれたしもやけニ塗藥デハ塗布ト同時ニ痛ミヲ感ジタリかゆみヲ增シタリ致シマスガ此藥ハ無刺戟ノ中ニ心地良イ罨法ニヨッ皮下ノ血行ヲ良クシ幼キ御子様方ニモ喜バレ如何ニくずれたしもやけデモ完全ニ全治致ス事保證致シマス是非一度御試シ下サイ。
東京　丸井邦寶堂
福島茨城兩縣特約
平町一丁目
伊藤石炭店

三線道路出現と共に露店街は役場附近へ

明年度の鋪裝から 情調的な夜の歩廊

春夏秋冬を通じて常陽銀行附近に展開さるる露店情調は、今や躍進平町の一風景たる迄に馴染深いものになつた。殊に夏の夜の漫步には町內唯一のプロムナードとして肩摩轂擊の混雜を來すので、街の賑ひもさる事乍ら、其筋では交通整理上兎角眉を顰め勝ちであつた處、恰も良し昨報の如く本町通りから驛前貨物扱所に至る田町の丁字點から播槌小路に至る二丁目餘の區間が平町最初の三線道路として鋪裝され、而も幅員六間の堂々たる通りは、兩側に各種露天が居竝んでも敢て狹隘を感せず、廓然たる車道との區分によつて交通上絕對安全地帶ともなるので之に關する當局の意向もあり、現在前記地域に限られてある平町の露天街は今夏頃から交通量もさまで人の漫步氣分を傷けぬ程度の役場通りに移るものと觀られてゐるが

快き街の戰慄兩側に。ならべる柳雨に濡れゆく　森　花葉

底の情調的な之の町筋の出現は町民の均しく待望しつつある處である

卅七名足りない 海軍兵の志願者

締切り今月末に延期

郡下の海軍志願兵檢査は既報の如く來月十八日から三日間平第三小學校講堂で執行されるので縣では過般來受驗者の願書を受付けてゐたが、現在の應募者は割當て二百四十名に對し二百三名、未だ三十七名の不足なので願書締切りを今月末迄に延期募集に當つてゐるので希望者は直ちに町村役場へ申込まれたいと

尙平町の應募者は今十六日で二十二名、昨年に比し二、三名の增加である

特配を併せ年一割

植電の今期成績

地方電氣界に逐年堅實な地步を築きつゝある植田水力電氣株式會社は一般事業界が或は退嬰不振の狀況に陷り稀に成績優良のものと雖も略ね守成の域を脫せざるに反し常に合理的漸進主義を以て業績日に擧り極めて輝かしい朔日の飛躍を期待されてゐるが明後十八日の定時株主總會には配當年七分に併せ三分の特別配當を決定するとなつて居る

草野診療所

來月下旬から開始

草野村では過般來村民の保健衞生に資する爲診療所の新築計劃中であつたが愈々此程內務省より千五百圓の補助を受け三千五百圓を以て起工で二月下旬落成の上は高久村出身鈴木喜平醫師が入所診療に從事する事に

草野村坪刈品評會成績

草野村大字泉崎青年團主催水稻坪刈品評會左記入賞者の賞狀及び賞品の授與式は昨十五日午後一時より同村講堂に於て擧行した

1愛國五號籾量一升一合七勺渡邊三右エ門 愛國五號一升一合二勺佐藤秀壽 2九重大場政衛外二名 3渡邊富一外六名

磐炭でも 寒稽古開始

・參加百名突破か

身にしむ嚴寒ものかは、目下各方面で寒稽古が行はれてゐる、磐城炭礦武道會でも來る二十一日から三十日迄毎日午後六時から九時迄(日曜午後一時―三時)行ふが參加は劍道三十五名、柔道四十名、弓道五十名に上り盛會を豫想されてゐる

尙內鄕武德殿でも去る十日から三十日迄行つてゐる

工廠職夫願書締切

平職業紹介所では既報の如く橫須賀海軍工廠職夫を募集、今十六日で締切つたが正午迄の申込みは十一名であつた、近く採用試驗執行

首をかつ斬る

負傷、前途悲觀の 老坑夫絕命

好間村北好間字三反田二七滯井定次方平炭礦坑夫山形縣西置賜郡東根村生れ菊地吉次(四七)は昨十五日午後三時半頃同家奧座敷に於て日本剃刀で頸部二ヶ所をぶつた斬り紅に染つて絕命してゐるを家人が發見、屆け出により平署で檢視した

吉次は鄕里に居るうち養女マツ(三五)に養子を迎へ自分は救濟工事等に出てゐたが子供等に邪慳にされるので居たゝまらず去る四日同炭礦に出稼ぎに來る早々一昨十四日トロにはね飛ばされて腰部に負傷悶々の日を送るうち鄕里の子供等の事などから發作的に精神に異常を呈し前記の始末に及んだものらしい、尙同人は步兵一等兵であつたと

平町水道委員會

二十日午前十時から開き十二年度水道豫算を附議する

近し開眼

胸躍るあんまさん六人

永い間の暗闇生活から『光』を求めて新潟へ

『開眼有望なり』と新潟醫大の熊谷博士から嬉しい折紙をつけられたものは既報の如く平町に十一名ある、町役場からの正式通知に接して驛前丸濟旅館のおばあさん佐藤ツル(七九)女が先づトップを切つて手術の屆出をしてから磐城跡宮村クラ、磐城訓盲院小西勇、南町涌井ハル、仲間町猪狩知雄の四人と、きのふは本縣鍼摩マッサージ協會石城支部長を十年も勤めたインテリ按摩さん二丁目舘春榮(五〇)さんが見えない目に喜びをたゝへながら『四十年の暗闇の生活から脫け出られるんでこんな嬉しい事はありませんよ……』と町役場へ屆け出た――これで都合六人が憧れの光を求めて新潟醫大に入院『嬉しい手術』を受けるわけだ

近く手術時期決定

何せ今回は手術注射は無料、入院費其他で六十圓內外あれば充分であり、それに貧困者であれば縣當局に於て補助する事になつて居ると云ふ好機會なので町當局では殘る五名に對しても出來得るならば手術を望んで居る

躍進の春を祝福し 町村長さん交歡

一堂に溢るる平和な光景

縣町村長會の支會總會。郡下三十四の町村長が、遠い處は夜うち朝がけと云ふ物々しい參加丈けに、先づ以て此邊に於ける地方長官會議の豪華版と云ふ處である

而も彼等が、強ち政黨內閣ならずとも、台閣の起伏に因つて直に笠の台が吹つ飛ぶと云ふ名ばかり良二千石の浮き草稼業と異り、先祖傳來の恒產を忘れ、退勤後の宿直室に於ける湯豆腐會などには常に費用を一身に引き受けては、月々受くる報酬などはどつちへもつかぬ位の切れ味を見せ、斷然一町村の人心を收攬して居る根が不自由知らずな庄屋さんの集りとして、久し振りに顏見合せても、お互『明日は向ふの岸に咲く萍の悲觀話も出す、勞頭『逢著たなあ…』の親しみ深い挨拶を皮切りに、上げ米の昔收から始まつて。孫と相撲とつて眼鏡を毀された、なんていとも明朗な話に興を湧かし、さて谷口の宴會となれば、酒三行心臟漸く快き鼓動を始むる頃から村では見られぬ綺麗くびのお酌に歡興頓に生じては『去年公園で逢つたつけな……』てな調子で果してそんな事あ[illegible]なしや、さながら十年の知己の如き懷しさを滿喫し、目尻の小皺に羽化登仙を表情し乍ら明治四十年前後サノサ節華やかなりし時代の而もブロークンな歌ひ振りに伴奏役を若しませた上徽醺を寒風に吹かせつゝ、颯爽と經濟更生のわが村さして歸り行く、世にも平和な今日の町村長會ではあつた

養蠶組合設立

郡下で最近養蠶實行組合を設立し縣當局に屆出たものは左の如し

植田町後田昭後組合 △神谷村上片寄同 △神谷村中神谷大一同 △赤井村高萩中央同 △大浦村大浦同 △大野村白岩共榮同 △草野村草野同 △好間村今新田同 △平窪村同 △上小川村根本同 △下小川村桐ヶ岡同 △川前村西向同

上遠野に― 新公會堂

―廢校を改築して―

上遠野村深山田では廢校となつた小學校分教室を部落の中央に移轉し工費八百餘圓、靑年團の奉仕作業等でこれを公會堂に改築十三日落成式を擧げた、今後は各種の催しをこゝで開かれる

草野氏に土地收用法

平―神谷間國道直通工事で潰地買收に應じない神谷村鎌田草野龜松氏に土地收用法適用が十二日認可された、宅地十三坪、田畑、山林一反七畝

縣道改修進む

石住―上遠野間縣道改修工事は工費三千圓で着工、人夫不足で弱つてゐたが舊正月を前にして小遣取りの村民二百餘名が出役賑はつてゐる

貧故に少年の盜み

平署の溫情で歸さる

湯本町三函無職岩夫長男湯本校六年生本間信夫(一三)假名―は去る三日同町入山炭礦軌道會社倉庫から鐵屑を盜み出さんとして平署に捕はれ取調べの結果數回同倉庫から盜み出した事を自白した

炭礦坑夫をしてゐた同人の父親は三年前怪我がもとで働けなくなり母親イネ(四二)が日雇をしてゐたが僅か一日五十錢なので生活苦に陷つてゐたと云ふ貧故の盜みと判り同署では一應取調べた上將來を懇々諭し釋放した

只飲定檢擧

只飲常習者――飯野村北白土字木下農山野邊定之助(四二)はまた〳〵舊臘二十九日夜平町長橋町飲食店草野屋事草野トキ方で五圓九十錢の只飲がバレて此程平署に擧げられ近く送檢される

二縣を股に 泥棒行脚

捕はれた今野圓平

四倉署では昨十五日岩手縣を振出しに宮城縣石卷、鹽釜、岩沼、大河原、白石と三十數件の窃盜を働いた本籍岩手縣氣仙郡立根村字田谷九六窃盜前科三犯太田義保事今野圓平(三五)を白石署に指名手配逮捕した

今野は舊臘大河原驛前並白石驛前賣店、鎌先溫泉鈴木幸右衛門方賣店等を荒した犯人で賍品を白石町から鄕里に發送したことから同人の所爲と判明捜査中の者であつた

三縣を驅り步く

宮城縣志田郡古川町生れ前科十犯成田正十郞(五六)が昨年七月同縣栗原若柳町疊職坂本千記方に盛田新一と稱して疊を註文『一時立替へてゝ呉れ』とて六圓を詐取したのを手始めに宮城、福島、秋田の三縣を股にかけこの手專門に二十數件百八十餘圓を詐取した事件は來る二十一日平區で野木判事係り公判開廷

早くも春の準備

平藝妓屋組合では町から百五十圓の補助を受け昨春『花の公園』をあの艷麗な藝妓連の手踊り等で彩つたが、今年は尙一層の趣向で行樂の三春を飾るべく此程町當局にこれが補助金を申請したので町では十八日の土木委員會で相談すると云ふ――嬉しい春の準備デスネ 平藝妓屋組合で

投槍

投書歡迎

米突法遣ひわけ。。。。。

◇鐵傘下龍虎 相撲の壯觀も居乍らにして觀る否聽く事の出來るラヂオ文化の有り難さ。息詰るアナの描寫、澄み透つた呼び出しの聲、旋風の樣な觀衆の動搖めき、何と痛快な放送ではあるよ

◇×山身長五尺六寸、体重二十八貫、均整のとれた堂々たる男性美そのものです――斯うした登場力士の紹介があると、宛然錦繪の樣な×山のアウトラインが眼前に髣髴する、心眼易んぞ肉眼に劣らんや、だ

◇之れを假にYゲ嶽身長○メートル、体重□キログラム――とやられたらどうか、日常その實際問題を取り扱つて居る學校の先生か、受驗準備中の兒童でも無い限り概念がピタリと來ないのが大部分であらう

◇石も綿も一貫目に變り無い筈であるが石が重さうに想へるのが人情である。此際メートル、グラムでやられたら少くとも海外に誇る國技も憂鬱にならざるを得ない、異論もあらうが相撲道に關する計算は昔の稱呼を襲用し度いものだ（城山角狂老）

また一千圓也

盲人の開眼手術に 三井氏寄附

舊臘末平町の公會堂建設費として一萬圓を寄附した三井榮一氏はまた〳〵前記開眼手術を受ける氣の毒な盲人達のためその費用として金一千圓を今十六日町役場に寄附した

る

當局では總り次第縣に報告した上新潟醫大と手術の時期等をきめると

芳賀氏當選

川部の新村長決る

川部村會は村長選擧につき元同村助役芳賀義虎、村議加茂元吉兩派に對峙紛糾をつゞけてゐたが十五日の村會で決戰投票の結果七對四で芳賀氏に決定した

國防獻金

平町三丁目一七海產物商坂本直吉氏(五六)は二男浩治君(二三)が海軍機關兵として去る十日橫須賀海兵團に入團した記念に十五日五十圓を橫鎭經由で國防獻金

鳥小屋の廢止

豊間、江名でも

地方の名物鳥小屋は弊害が多いので平窪村では既報の如く今年からダンゼン廢止するが、豊間、江名の兩濱でも廢止する事となり此程各部落に嚴達した

薄情な亭主

好間村北好間炭礦坑夫秋田縣生れ渡邊佐五郞(三七)假名―は數日前妻子三人を置き去りにし出稼ぎに行くと稱して出かけたまゝ行方を晦ましたので妻ハナは昨十五日乳吞子と五ッになる長女を連れて平署に泣き込んだ、同署で斡旋歸鄕させる事になるらしい

天氣豫報

（小名濱測候所發表）

今晩は北の風晴

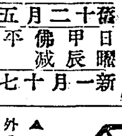
明日は北東の風晴一時曇

十七日（小名濱測候所發表）

滿潮 前七、二五 後七、〇〇 干潮 前〇、五五 後一、一五

十八日

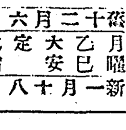
滿潮 前七、五〇 後八、〇五 干潮 前一、二〇 後二、〇五



舊十二月五日 日曜 甲辰 佛滅 平 虛宿 新一月十七日

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 熱心の餘り深味に落込み自他共に苦を見る▲二黑 我意募れば禍をいう發す賢者の言を尊重せよ▲三碧 苦勞も心配も功無く益々煩悶を重ねるに至る▲四綠 外觀は平靜なるが如くなれど內部動搖の兆▲五黃 積極的に事を謀れば過あり萬事消極的たれ▲六白 事業の擴張或は新事の計畫を進んで功を奏す▲七赤 益々佳境に入り進展發達を遂ぐるの大吉日▲八白 橫車を引廻さず調和を謀れば萬事吉となる▲九紫 十二分の發達は望み得るもさ應分の功あり



舊十二月六日 月曜 乙巳 大安 定 危宿 新一月十八日

▲一白 突飛な行動を愼しめば案外の好成績を見る▲二黑 計畫に添ろうなければ次第に發展し行くべし▲三碧 物事にもつれを生じ易き日又飲食物にも注意▲四綠 外に對する成勞はあれど內に對し不滿多し▲五黃 平和圓滿な目標とせば德望は一身に集まる▲六白 路事變調を呈し來りて意の如くならざる日▲七赤 多少の支障はあれども進路には差支へなし▲八白 小なる事に心を痛めず大處に着眼するが吉▲九紫 事は努力次第にて成るの日障害に屈するな

磐城の御みやげ品

物名 靈峰羊羹（みやま） 金十錢

姉妹品 柿羊羹。のり羊羹。沼ノ內辨天羊羹。

御旅のお出入には好個のお土產品です。小賣御希望の方お申越下さい。

製造發賣元 小川鄕驛前 平屋賣店

◎十二指腸虫寄生症診候

此虫が腸內に寄生せば十二指腸病を起し初めは身體が非常にだるく次第に貧血して一種特別の青白い顏色になり唇爪までも血色を失ひ或は爪の甲が反對に凹曲し、いき苦しく動悸亢進し、頭痛、耳鳴り等を覺へ水はれ、胃腸部の苦痛を訴へ萬事倦怠、神經抑鬱、食氣不振となり勞働は勿論阪登り水汲等も出來なくなり段々衰弱します。

方名十二指腸虫藥黃疸腸病丸

家傳……十二指腸の靈藥

斷食も下劑もいらず苦みも疲れもせすになほる驚く程偉大の効あり

◎心臟病、貧血病、黃疸病にも特効あり本劑にて忽ち顏色櫻色になり元氣恢復し三週間服用せばキツト全治す躊躇せず服用して健康體となられよ

◎ハガキにて御申越し次第代金引換小包郵便にて直に發送す …一週間分一圓十錢…

特約販賣店 常磐線植田町 安田屋藥局 電話一三〇番

一般貨物運搬

迅速低廉に御取扱ひ致します。

福好工業合資會社 代表者 強口唯七郎

自動車部 電話二八二番

砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。